

## 「中国・アジア」ダイジェスト

2014.04.07-04.18

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

4月7日(月)

N T Tデータ、中国研究拠点  
政府系機関と共同

N T Tデータは、中国科学院ソフトウェア研究所と共同研究センターを同研究所内に設立した。研究期間は5年間。当初はソーシャルサービスとヘルスケアの2分野でプロジェクト。(11面)

キユービー、中国で半熟卵製品  
コンビニ向け/弁当・総菜用

キユービーは、中国で半熟卵製品の販売を始める。半熟卵は付加価値が高い。上海市近辺のコンビニエンスストアなどに弁当や総菜用の高付加価値食材として供給する。(14面)

ヤクルト、広州第2工場稼働  
日産200万本

ヤクルト本社は、広州の第2工場で乳酸菌飲料「ヤクルト」の生産を始めた。初期は1日当たり40万本。年内に同120万本、最終的には同200万本に。第1工場の生産能力は同177万本。(14面)

4月8日(火)

東アジア途上国7.1%成長

中国の伸び鈍る/先進国回復下支

世界銀行が、東アジア・太平洋地域の途上国の経済見通し。2014年の成長率は

伊藤忠商事はハノイ近郊のナムディン省に設立した紡績工場と、近接する生地工場を増強する(ナムディン省の紡績工場=7日付)



7.1%と、前年の7.2%から若干減速すると予想した。中国経済の伸びが鈍る。先進国の回復が下支。(時事=2面)

4月9日(水)

車部品、中国との取引拡大  
高品質な部品調達

日系自動車部品メーカーが、中国の車メーカーとの取引を拡大している。東海ゴム工業は天津市の樹脂部品工場に中国メーカー向け専用工場棟を建設。高品質な部品を調達する動きが加速。(1面)

建機販売 - 失速

地方のインフラ工事が鈍化

建設機械メーカーの中国販売が勢いを

失っている。3月の油圧ショベル販売でコマツは前年同月実績を下回り、日立建機も当初計画に比べ伸び悩んだ。地方のインフラ工事が鈍化。(6面)



中国減速で反転攻勢へ知恵を絞る

4月10日(木)

フォード、初の月間10万台  
新車販売/3月28%増

米フォード・モーターは、中国での3月の新車販売台数が前年同月比28%増の10万3815台となった。月間販売で10万台を超えたのは初めて。S U V「クーガ」が人気。(時事=5面)

4月11日(金)

中国の建機販売が鈍化

日立建機/地方インフラ工事低迷

日立建機は、春節明けのヤマ場・3月の販売で前年同月を下回った。地方のインフラ工事の低迷で油圧ショベル(6トン以上)販売が同14%減と鈍化。マイナスは2013年3月以来、12カ月ぶり。(7面)

スズキ、船外機販売を直轄に

商社経由から切り替え

スズキは、中国で船外機販売を強化するため、新たに現地子会社のスズキ中国(北京市)を販売代理店に設定した。商社経由で現地販売店と取引していたが、直轄に切り替える。(7面)

4月15日(火)

3月の新車販売6.6%増

最高更新も伸び1ヶ台に

中国の3月の新車販売は6.6%増の216万9100台となった。過去最高を更新したが、伸びは2013年の前年比13.9%増を大きく下回る1ヶ台にとどまった。中国自動車工業協会まとめ。(時事=6面)

東南ア5カ国で陸上輸送

郵船ロジが「S E A L」

郵船ロジスティクスは、シンガポール、マレーシア、タイ、カンボジア、ベトナムの5カ国をつなぐ陸上輸送サービス「S E A L」の提供を始めた。航空より安価で海上より速い。(15面)

医療機器、新興国に照準

大商/低価格型など開発支援

大阪商工会議所は、医療機器の海外展開支援を拡大する。医療機器ビジネスの支援強化のため、新たにアジアを中心とした新興国向けの開発支援に乗り出す。低価格型など開発を支援。(31面)

4月16日(水)

ケーヒン、4輪車用E C U量産  
インドネシア/ライン共用

ケーヒンは、インドネシア・ペカシのピーティーケーヒンインドネシア第1工場で4輪車用電子制御製品(E C U)の量産を始めた。生産能力は年約20万台。2輪車用ラインと一部共用。(5面)

コーケン、印製の溶射システム

薄膜コーティング/半値程度

コーケン・テクノは、インドのM E C製の高速フレーム溶射システムを販売する。主流の米国製品の半値程度の価格競争力を武器に、硬質クロムメッキなど超硬の薄膜コーティングを開拓。(7面)

三菱電機、L E D照明タイ実証

日系工場向け/東南ア・中国に拡販

三菱電機は、L E D照明器具の海外展開に2014年度乗り出す。夏前にもタイで実証、年内にも本格販売。日系の現地工場・倉庫向けに提案。東南アジアや中国にも拡販。(8面)

ドンキ、台湾に物流センター

海外生産P B集約/日本に直送

ドン・キホーテは、台湾に海外商品の中継拠点となる物流センターを設置する。P Bを30%に引き上げる。海外生産のP B商品を台湾に集約、日本の地域物流センターに直接配送する。(13面)

日本 - 東南アの中小を仲介

エイコー/1000社集める

エイコーは、日本の中小企業と東南アジアの中小企業のビジネスマッチングプロジェクト「ジャパン サークル」を始める。日本企業を約1000社集めマッチング。会員専用サイトを開設。(32面)

4月17日(木)

リズム時計、ベトナムに新工場  
クロック/中国から一部移管

リズム時計工業は、ベトナムにクロック(掛け時計、置き時計)工場を建設する。投資額は約10億円。2015年3月稼働。中国工場のクロック生産の一部を新工場に移管。(7面)

東洋エンジ、L N G設備受注

インド/200億円

東洋エンジニアリングは、インドでL N G受け入れ基地向けに、L N Gをガスに戻す設備の新設工事を受注した。受注額は200億円程度。受け入れ能力は、年間500万トン。(7面)

オイル・インドアが買収検討

シェルのナイジェリア事業

インド国営石油会社オイル・インディ

住友林業、香港で不動産開発

現地大手と連携

住友林業は、香港でマンションなどの不動産開発事業を始める。現地不動産大手・香港興業国際集団と連携しR A H Lの全株式を取得した。需要が堅調な香港の住宅市場を開拓する。(14面)

4月16日(水)

中国7.4%成長に鈍化

景気刺激策で悪化回避

中国の2014年1-3月期のG D Pは、実質ベースで前年同期比7.4%増と、伸び率は2四半期連続で鈍化した。政府年間目標の7.5%も下回った。景気刺激策を打ち出し始めた。(時事=2面)

G M、2014年新車100万台突破  
8年連続/最も早い時期の達成

米G Mは、中国での2014年の新車販売が100万台を突破。年ベースで8年連続。最も早い時期での達成。2013年の販売は316万台だった。社長は「市場の需要の変化に応じてきた。」(時事=5面)

富士ソフト、中国に現法

オフショア開発/組み込みソフト

富士ソフトは、中国で事業を拡大するため現地法人「富士軟件科技(山東)」を設立する。オフショア開発や、中国に進出する日本企業と現地企業に組み込みソフトを開発・販売。(9面)

住商、上海で高機能樹脂原料

スペイン大手と工場

住友商事は、スペイン石油化学大手・セブサキミカと、中国で石油化学品の製

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面の  
今回は5月12日(月)に掲載します。

造を始める。自動車部品や電気部品向け高機能樹脂原料の工場を上海市南西部の石油化学工業区内に建設。(12面)

4月17日(木)

現代自、次世代車開発センター  
エコカー基幹部品技術など

韓国・現代自動車グループは、山東省煙台市で次世代自動車技術研究開発センターの建設を進めている。次世代エコカーの基幹部品技術の実用化や新車の設計から試作、評価まで一貫。(5面)

4月18日(金)

帝人、南通市に商品開発拠点  
原系・テキスタイル

帝人は、江蘇省南通市に原系やテキスタイルの商品開発拠点「帝人(中国)商品開発センター」を開設。機能性衣料用製品やケミカルリサイクルポリエステル繊維を使った衣料用製品を開発。(3面)

日立化成、車用樹脂成形品生産  
河南省鄭州市/日産向け

日立化成は、河南省鄭州市に設立した自動車用樹脂成形品の生産拠点、日立化成工業(鄭州)汽车配件が稼働した。まず、日産自動車の新型「エクストレイル」向けバックドアを製造。(11面)

の「ソラリア」ブランドで展開、日本人の女性観光客に照準。(13面)

ダッカに袋物類縫製工場

茅/月5万個

茅は、バングラデシュ・ダッカ市の袋物類縫製工場を稼働した。地元企業との合併。地元メーカーから受注したトートバッグを月5万個生産する。日本市場向け。(21面)

4月9日(水)

川重、インドネシア第2工場  
2輪車/年産15万台

川崎重工業は、インドネシアで2輪車生産の第2工場を稼働した。年産能力15万台。同国の年産能力は25万台に。スポーツモデルの新製品「ニンジャ250SL」と「KLX150」を生産。(5面)



「ニンジャ250SL」(川重)

インドネシアに予備部品の倉庫  
U Dトラック/大型向け

ボルボ傘下のU Dトラックスは、インドネシアに予備部品用の倉庫を建設する。鉱業向けなどの大型トラック向け。配送する際の距離を短縮する。1000万ドルを投資。現地紙が報道。(時事=5面)

4月10日(木)

「タイ・プラスワン」  
A S E A N大動脈「南部経済回廊」

タイ・カンボジア・ベトナムを陸路で結ぶ「南部経済回廊」は、A S E A Nの大動脈。物流網の構築でタイ工場の生産を補完、「タイ・プラスワン」のサプライチェーンを構築。(深層断面=28面)

アネスト岩田、ミャンマー拠点  
塗装機器/販売・技術支援

アネスト岩田は、ミャンマーのヤンゴン市に販売支援と技術サポートの拠点を設立した。日系製造業や現地の自動車補修工場などを対象に、塗装機器の販売支援と技術サポートを行う。(6面)

インド向け中低層エレベーター

三菱電機/電力20%減

三菱電機は、インドの中低層建物向けエレベーター「ネクシーズ ライト」を発売する。減速機を使わないギアレス巻き上げ機を採用。動力の損失を抑制し、消費電力を20%減らした。(9面)

三菱マテ、ラオスで生産

エアコン用温度センサー/月700万個

三菱マテリアルは、ラオスにエアコン用温度センサーの製造子会社「M M Cエレクトロニクス ラオス」を設立する。中国などに出荷する。2016年までに月産700万個体制。(11面)

マレーシアL N G年45万トンに

西部ガス/新基地稼働

西部ガスは、マレーシアL N Gからの

L N G受け入れ量を、2015年度以降に現在の年39万トンから同45万トンに増やす。「ひびきL N G基地」稼働による規模増大に伴うもの。(12面)

ベトナム経由で大量輸送

日通/カンボジア - 日本

日本通運は、カンボジアのプノンペン・ベトナムのホーチミン間をトラックで陸送し、ホーチミンからは海上が航空で日本へ輸送する複合輸送サービスを始めた。東京港や成田、羽田向け。(12面)

4月11日(金)

ホンダ、タイ工場の稼働延期  
4輪車/促進策が終了

ホンダは、タイで建設中の4輪車工場について稼働を半年から1年延期する。ロジャーナ工業団地内で2015年稼働予定だったが、タイ政府の自動車購入促進策が終了し需要が低迷。(1面)

アサヒ、乳製品事業を買収

マレーシア/240億円

アサヒグループH Dは、シンガポールのエチカインターナショナルホールディングスからマレーシアの乳製品事業を買収する。買収額は約240億円。東南アジアは拡大が見込める。(3面)

京セラ、タイにスマホO E M

現地最大手/聞き取りやすく

京セラは、携帯電話端末のO E M供給をタイで始める。現地最大手スマートアイ・モバイルに、声が聞き取りやすい独自機能などを組み込んだスマートフォンを提供。(3面)

イオンモール、ベトナム店で着工

日本にはない店舗・サービス

イオンモールは、ベトナムハノイ市1号店となるショッピングモールを着工。室内遊園地、タレント養成スクールなど日本国内のモールにはない店舗・サービスを提供。(15面)

ベトナムで自動車部品を量産

日昌製作所/現地の人材、日本で教育

日昌製作所は、ベトナムで自動車関連部品の量産を9月にも始める。国内で技術力を高めた同社で働くベトナム人を数人送り込む。数件の受注がほぼ決定。量産に向け試作を始めた。(24面)

4月15日(火)

カンボジアと排出権取引制度  
温室効果ガス、削減分として活用

政府は、途上国との排出権取引制度「2国間クレジット制度」で、カンボジアと制度実施で合意した。日本の技術で実現した温室効果ガスの削減量を日本の削減分として活用できる。(2面)

海外向けC T、機能特化

新興国向けはアジア・中東・南米に

日立メディコは、先進国と新興国向けにそれぞれ機能を拡充したコンピュータ断層撮影装置(C T)2機種を2015年3月末までに投入する。新興国向けの機種はアジア、中東、南米などに。(11面)

シンガポールで商業生産開始

日本ゼオン/タイヤ用ゴム年4万トン

日本ゼオンは、シンガポールのジュロン島にある全額出資子会社のゼンケミカルズシンガポールの低燃費タイヤ用ゴムプラントが商業生産を始めた。年産能力は3万-4万トン。(13面)

アは、ロイヤル・ダッチ・シェルのナイジェリア事業買収を検討している。事業規模は20億ドル相当。ナイジェリア経済紙が報じた。(時事=12面)

ベトナム3プロに貿易保険

地銀6行/約153億円

日本貿易保険は、ベトナムの水力発電など3プロジェクトへの横浜銀行や福岡銀行など地銀6行の融資に貿易保険を付けた。引受総額は1億5000万ドル前後(約153億円)。(17面)

八洲産業、ソウルに支店

日本製電子制御機器の取引拡大

八洲産業は、韓国・ソウルに支店を5月に開設する。海外事業強化の一環として、同国市場に本格進出する。メーターやリレーなど日本製制御機器を韓国の装置メーカーに販売する。(23面)

4月18日(金)

ジェットロ、7事務所を追加  
バングラデシュ・カンボジアなど

日本貿易振興機構は、大使館などと連携して海外で中小企業の国際展開の相談事業を拡充する。ベトナムやタイなど10カ所ある事務所に、バングラデシュやカンボジアなど7事務所を追加。(3面)

日野自、マレーシアで操業

中小型トラック・バス/年1万台

日野自動車は、マレーシアの製造子会社・日野モータースマニファクチャリングマレーシアが操業を始めた。年産能力は約1万台。中型トラックや小型トラック、バスを製造。(5面)

ラインオフ式典(日  
野マレーシア製造)

極東開発、タイで製造

ウイングバンなど/年3000台

極東開発工業は、子会社の日本トラックがタイに合併会社を設立する。カーゴ系車両や建設関連の特装車両向けにウイングバンと物流用の10ドアバン、ダンプトラック。10年後に年産3000台。(5面)

チノー、現地ニーズで新製品

韓国・インドに投入

チノーは、韓国とインドで現地需要に合わせて専用開発した製品を投入する。韓国では半導体業界向け放射温度計。インドでは現地企業に対抗するため、記録計の低価格機種を発売する。(6面)

O K I、インドにA T M販社

経済成長・現金流通量が増加

O K Iは、インド・ムンバイ市にA T Mの販売子会社を設立した。インドでは経済成長と現金流通量の増加で、入金が可能なA T M需要が急速に伸びている。インドシェア20%を目指す。(8面)

アジア4カ国に直行船便

ドイツポストD H L/ベトナムなど

ドイツポストD H Lは、日本とアジア

4カ国を直接結ぶ海上小口混載輸送サービスを始める。トルコ、ベトナム、インドネシア、フィリピン向け。積み替えが不要で輸送を2-3日短縮。(13面)

最高品質の和牛、東南アに  
エスフーズ/シンガポールに拠点

エスフーズは、食肉の輸出事業を本格化するため、年内をめどにシンガポールに海外販売拠点を設置する。最高品質の和牛を中心に、日本の高い品質を求める東南アジア市場を開拓する。(13面)

## TELOP

インド総選挙スタート  
10年ぶり政権交代焦点(時事=8日2面)日本トムソンがタイ販社  
開所式(8日6面)日伝、ベトナムに合併  
動力伝導機器・エンジン(8日6面)シンガポールに現法  
N T Tファイナンス(9日3面)サムスン電子、スマホ純り減益  
営業利益4.3%減(時事=9日3面)インドネシア車関連輸出90億ドル  
2017年目標(9日5面)

外国人専用「ななつ星」走る

台湾・香港・蘭など14組28人(9日16面)

I H I、タイでE P C受注

韓国ボスコエンジと共同(11日8面)

台湾向けボイラ供給体制強化  
三浦工業(11日8面)ベトナムから友好勲章  
片倉工業・竹内彰雄社長(11日13面)インドネシアN P Oに社員派遣  
日立ソリューションズ(15日10面)シンガポールのアスコット進出  
東京・大手町の再開発ビル(15日14面)今仙電機、インドネシア販売拠点  
自動車シート機構部品(16日5面)T I S、タイ企業に出資  
I Tソリューション提供(18日8面)ベトナムで工業用水供給設備  
神鋼環境ソリューション(18日11面)マレーシア輸出入銀債券に1億ドル  
日生(18日27面)

ひと

定着率改善の秘訣

「現地従業員の定着率が落ちてきた」と、ユニブレスインド社長の三浦高行さん。進出先のインドで現地従業員が離職してしまうのは日系部品メーカー各社に共通する悩みのた。独自の生産方式に理解が広まっていることも従業員のつなぎとめに役立っている。(9日=5面)

相性はとてもいい

「中国、韓国と日本の(政治的)関係悪化を憂鬱に思う」と、瀧定名古屋社長の瀧昌之さん。最近は東南アジアでの事業が拡大中。「東南アジアには韓国が根を張っている。ビジネス相手は韓国人だが相性はとてもいい」と関係良好だ。(9日=17面)